

「よろこびの声」でいっぱいにお寄せください あなたの思い

日々のボランティア活動の中で、心に残る思いや感じたことなど、仲間同士で共有して、より豊かな活動につなげたいとの思いから、ボランティアセンターで「ボランティアのよろこびBox」を設置しています。このたび、より便利な場所をご利用いただくために、設置場所をボランティアセンター室から、通路（廊下）に変更しました。たくさんの「よろこびの声」をお寄せください。お待ちしております!!

(ボランティアセンター相談員一同)



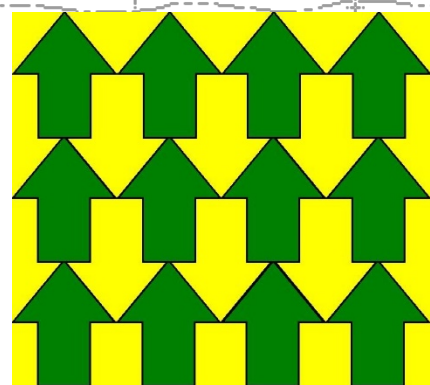
事務所前で皆さんの投稿を待つ「ボランティアのよろこびBox」

ボランティアセンターに新しい相談員

～仲間が増えました～

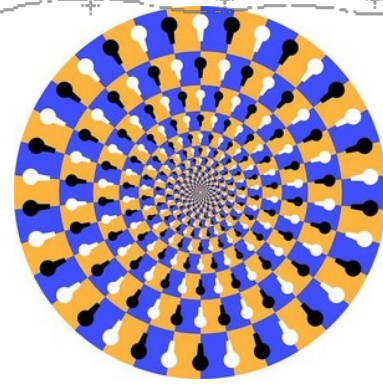
新相談員 斎藤和子

人と話す機会が減ったコロナ禍。声を出すための筋肉が衰え、声も老(ふ)けると言われており、他人事ではありません。
“地域とのつながりの大切さ”を学んだ者として心をこめてボランティア相談員の大役を、声を高めに張ってがんばります。よろしくおねがいいたします。



上、下?

ちゅーいー



ぐるぐる・・・

～ネタミエ・タイムス HP より～



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター

電話：072-838-0400

URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>



ホームページ ツイッター インスタグラム フェイスブック

上記のQRコードを携帯電話やスマートフォン等から読み取ると、本会の各SNSページにつながります。

春!! さあ、屋上庭園へ 花々を育てて 交流の場づくり

園芸V
らぶ

「園芸福祉ボランティアらぶ」では植物を育てることを通して、子供から高齢者、障害者などがともにふれあう交流の場づくりと花や緑による癒やしの環境づくりをしています。

日頃より、市立保健福祉センターの植え込みなどに、植えられた花々は訪れる皆さんの気持ちを和ませてくれます。

また、春と秋には同センターの屋上に作られた花壇を開放しています。

□■メンバーより

一昨年よりコロナ禍の影響により、屋上庭園の開放が中止になりました。今年は、種から育てたかわいいお花たちをぜひ見に来てください。

□■保健福祉センターを訪れる皆さんより
季節ごとに植えられている花をいつも楽しみにしています。暑い日、寒い日の作業



心を込めて育てたきれいな花たちと皆さんのお越しをお待ちしています＝市立保健福祉センター屋上庭園

も大変だと思いながら、感謝の気持ちで拝見しています。ありがとうございます。

屋上庭園開放日

4月18日(月)～25日(月)
午前10時～午後3時

☆18日は正午まで



挿絵 宮崎静美 作



35年の活動に終止符 登録Vグループ「ほうれんそう」

当ボランティアセンターに登録の家庭援助ボランティアグループ「ほうれんそう」が35年の活動に幕を下ろしました。この間、数多の表彰・感謝状の受賞。また、関係者からも思い出や解散を惜しむたくさんの声が寄せられました。

「ほうれんそう」の解散まで長きに渡り代表を務めた村井ひとみさんが、思いを語ってくださいました。

昭和62年に活動をはじめて35年、令和3年11月に活動の中止を決定しました。

発足当時は在宅介護家族の会の支援を柱に、絵手紙講習会など市内の小・中学校や高齢者施設への指導者を出前。ボランティア活動は「自分のためのもの」と考え、人に喜んでいただけることの感動を受け続けてきました。

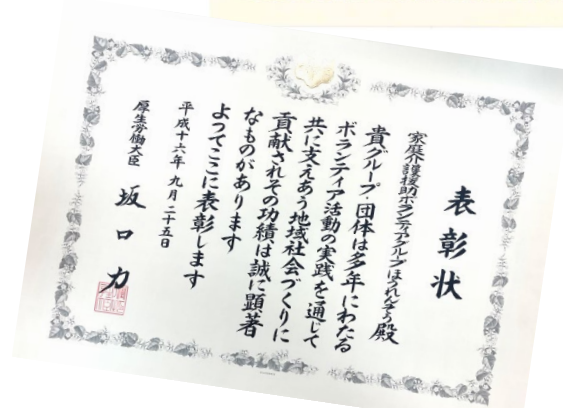
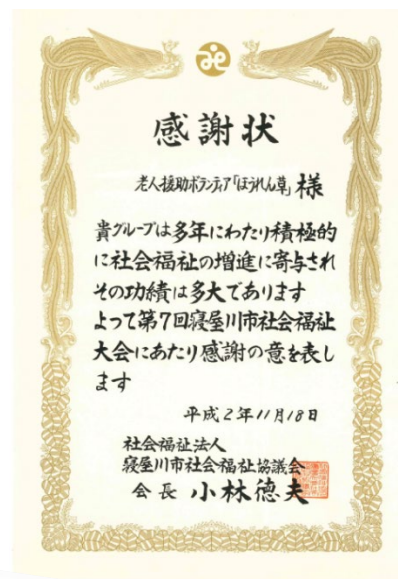
その間、厚生労働大臣表彰、大阪府知事表彰などを受け、社協には車いす寄贈など、ただただ続けてきたことの軌跡です。

ここ2～3年のコロナ感染症での活動停止は非常に大きなできごとでした。

自分たちの高齢化や、高齢者施設への活動、学校関係活動もできない現実。やる気・体力・知力が徐々に萎えてきました。

この、コロナ禍の影響が本当に大きく活動中止につながりました。ただ私の人生はまだまだこれからです。

「ほうれんそう」ロゴマーク入りのクッションと、きれいに描かれた絵手紙



上 平成2年 寝屋川市社会福祉協議会会長から贈られた感謝状

下 平成16年 厚生労働大臣表彰状

今後は「人のためから自分のために」との思いから、同登録グループの「写仏愛好会」に参加しました。鉛筆がしっかり握れるうちは続けていこうと思います。

□■ボランティアセンター相談員から

長い間の活動お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。ボランティアセンターで枕やクッションなどの介護用品や絵手紙の作業など、和気あいあいの様子を目にし、私たち相談員も豊かな気持ちにさせていただきました。

ス々の「いきいきサロン」～堀溝校区～ 参加者いきいき

コロナ禍の中にあっても、みんなで集まって以前のように「ほほえみひろば」(堀溝校区のいきいきサロン)に参加したい。との多くの熱い声に答えて、1月24日、会場、消毒、座席の間隔、換気、時間など十分に考慮して南コミセン分館で2年ぶりに室内でのサロンを開きました。

3つのグループに分かれ、小声での会話ながらも、参加者同士、久々の再会に積もる話の数々。

最後には当サロン名物の手遊び。

♪1・2・3～2の4の5♪でんでんむしむしかたつむり♪などを楽しみ笑い合いました。



気を遣いながらも、ささやかに盛り上がる会話の時間

■□■参加者から

○ボランティアの皆さんにはお世話かけましたが、ほんまに楽しい時間を過ごさせてもらって、元気が出ました。しゃべり会えることが大切ですね。

○今日の手遊びで笑って寿命が5年延びました。早よコロナ禍が終わって、元に戻ることを願ってます。

■□■スタッフから

○神経を使いながらの開催になりましたが、皆さんのお元気な姿を見て、今更ながら「サロン」の重要性を感じました。

○制限された条件でのサロンは気疲れし

ましたが、こんなに喜んでもらって・・・これからも工夫を凝らしながら取り組みます。

○これから気候が良くなったら、屋外でのプログラムも含めて「ウィズコロナ」。でも、1日も早い終息を。

団体・個人登録ボランティアの皆様へ

現在ボランティアセンターに登録いただいている団体・個人対象に登録更新の確認をしています。令和4年度登録希望の方は申請をお願いします。

○登録期間：令和4年4月1日～翌年3月31日まで

○申請方法：団体＝団体登録申請と関係文書をボランティアセンターに提出

個人＝個人登録申請をボランティアセンターに提出

○提出期限：令和4年3月31日

※詳細は当センターまで問い合わせください。☎072-838-0400